

# 日本社会学史学会ニュース No. 150

日本社会学史学会事務局  
(2025年3月11日発行)

## 1. 2025年度・第64回日本社会学史学会大会について

### (1) 自由報告の募集

本学会2025年度大会は、6月28日(土)と29日(日)の両日、神戸学院大学(神戸・ポートアイランドキャンパス、世話人・岡崎宏樹研究担当理事)において、開催いたします。

つきまして、自由報告の申し込みを受け付けいたします。報告を希望される会員は、①氏名、②所属、③報告題目、④住所(連絡先)およびアドレスを明記され、4月14日(月)正午まで、事務局宛メール([mail@jashs.jp](mailto:mail@jashs.jp))にて、お申し込みください。締め切り後はいかなる理由(パソコン通信障害等)がございまして一切受理いたしません。締め切り時間の厳守をお願いします。

感染防止対策を徹底しての大会開催を予定しております。会員各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

自由報告の日時は、原則6月28日(土)を予定しております。報告時間は15分、質疑応答10分です。(報告人数により報告日時変更の場合もあります)

### (2) 2025年度大会の概要

正式なプログラムは、5月下旬発送ですが、現時点での予定は下記のとおりです。

6月28日(土) 自由報告、理事会、総会、懇親会

29日(日) シンポジウム開催

### (3) 大会シンポジウム

☆共通テーマ

「境界・臨界点から社会(学)を問い直す①:感情・情動・身体からのアプローチ」

☆報告者(仮題)(敬称略)

山田陽子(大阪大学)『感情』を通して社会と社会学を考える

—『社会と感情』、『社会学と感情』をめぐるいくつかの論点—

梅村麦生(神戸大学)『意のままにならない』感情を社会と社会学はいかに扱ってきたか:ハルトムート・ローザの共鳴理論と感情・情動の社会学から

森田直子(上智大学)「歴史学における身体と情動—感情史を中心に—」

☆討論者:小川伸彦(奈良女子大学)、馬渡玲欧(名古屋市立大学)

☆司会:研究担当理事 白鳥義彦(神戸大学)、出口剛司(東京大学)

## 2. 会務報告

(1) 2024年度第4回理事会開催（1月25日（土）日本大学文理学部）

- ① 2024年度本学会研究例会について
- ② 2025年度本学会大会シンポジウムについて
- ③ 『社会学史研究第47号』編集状況について
- ④ 本学会組織見直しについて
- ⑤ 本学会書籍仲介事業について

学会大会時に、「専門書譲渡コーナー」を設けることになりました。詳細は、準備が出来次第本学会HPにてお知らせいたします。

(2) 本年度本学会研究例会開催（2月22日（土）オンライン Zoom）

共通テーマ「モノ・身体・情動」

司 会 岡崎宏樹（研究担当理事）

- ① 報告者：中倉智徳会員（千葉商科大学）  
題 目：「タルドのモノドとラトゥールのプラズマの概念比較とその現代的意義」
- ② 報告者：池田祥英会員（早稲田大学）  
題 目：「アルヴァックスの社会形態学について」

## 3. 2024年度本学会春の関西研究例会開催のお知らせ

日 時：2025年3月16日（日）、13時30分～17時

場 所：京都大学

- ① 報告者：田村 豪氏（神戸大学）  
題 目：「G・ジンメル社交性論の研究  
ードイツ語圏社会学における「個と社会思想の系譜と問題系からー」
- ② 報告者：中河伸俊氏（関西大学名誉教授）  
題 目：「戦略的相互行為と表出ゲームー「儀礼論のゴフマン」もう一つの顔ー」

## 4. 新入会員（住所等省略）

- ① 藤井亮佑（関西学院大学大学院研究員）

☆日本社会学史学会事務局

<http://www.jashs.jp/>

[mail@jashs.jp](mailto:mail@jashs.jp)

〒156-8550

東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部社会学研究室内

TEL 03-5317-8978（庶務担当）

FAX 03-5317-9423